

2022年5月 編集:国際開発救援財団

笑顔が広がる学びの場 ～参加者同士の分かち合いを通して

コーヒーの花が開花しはじめる5月から6月にかけて、ソラダ省のコーヒー生産農家は次の収穫時期に備えて、日々木の手入れや農園の管理をおこなっています。今月は引き続き農園の管理方法や堆肥活用に関する農業技術研修を5つの村で実施しました。

各村で行われた研修には地域のリーダー的存在でもある、篤農家30～50名が参加しました。参加者は男女や年齢を問わず、互いに自分の経験や木の手入れ方法などを紹介したり、疑問に思ったことや大変だったことも気軽に共有することができたことで、よくある真面目でお堅いイメージの「研修」とは違って、和気あいあいとした雰囲気の中、研修は進みました。



参加者の笑顔がこぼれ楽しい雰囲気



「私は4C農家！」冊子を読んで4C認証についてより深く理解することができました

研修の後半で行われた国際認証の一つである、4C認証に関する学び合いの時間でも、参加者が冊子を手にとって、すべてのページを読み上げ、自分たちの気づきや実践状況を共有しました。「とても難しい内容ですが、楽しい共有の場のおかげで、4C認証への理解が前より深まりました。家族やご近所さんにもぜひシェアしていきたい」という声が上がりました。研修で学んだ技術を実践して、今年のシーズンも良いコーヒーの実が実るよう願っています。

初夏の訪れ～ソラダ省は、すももの収穫期～

4月から夏が始まり、ソラダ省各地ですももの収穫が開始されました。食感が良く、甘くておいしいと評判のすももは、省の主要農産品の一つです。

プロジェクトの対象地域では、コーヒー畑にすももなどの果樹を混ぜて植える混植栽培を行う農家がたくさんあります。コーヒーと果樹の両方の栽培を行うことで、農家の収入も上がるので、すももの栽培もコーヒー農家の皆さんにとってこの時期の大切な仕事となっています。



今年もたくさんのすももが採れました

